

# エアコン

# 購入・設置費

## 仕訳ガイド

借方	貸方
***** ¥00,000	***** ¥00,000
***** ¥00,000	***** ¥00,000
***** ¥00,000	***** ¥00,000



- ※ 本資料は参考情報であり、法令等への適合性や内容の正確性・完全性について、一切保証するものではありません。制度の適用にあたっては、必ず公的資料等をご確認ください。
- ※ 本資料の情報は、2026年3月作成時点のものであり、変更される可能性があります。ご利用の際は、必ず最新情報を公的機関にてご確認ください。



# エアコン購入・設置費 仕訳ガイド

エアコンの会計処理は、本体価格と設置費用の「合計額」によって勘定科目が変わります。10万円、20万円、30万円の金額を例に経理処理のポイントを解説します。

例えば、本体が8万円で工事費が3万円の場合、合計11万円として判定します。このように、購入費と設置費は区分けせず、取得価額と合計して計上するのが一般的です。



## 金額別に見る勘定科目の選び方

購入・設置にかかった合計金額に応じた適切な科目は以下の通りです。

合計金額	推奨される勘定科目	償却期間・処理の特徴
10万円未満	消耗品費	購入した期に全額を経費にできる
10万～20万円未満	一括償却資産	耐用年数に関わらず「3年」で均等償却可能
30万円未満（青色申告の中小企業等の特例）	工具器具備品等	青色申告者の少額減価償却資産の特例で全額損金算入可（年間300万円まで）
30万円以上	工具器具備品 / 建物附属設備	法定耐用年数（6年～15年）に応じて減価償却

# エアコン購入時の仕訳パターン

## 1 10万円未満を現金で支払った場合

合計額が10万円未満であれば「消耗品費」として、その期に全額費用にできます。

借方科目	金額	貸方科目	金額
消耗品費	77,000円	現金	77,000円

## 2 10万円以上を一括償却資産として処理する場合

10万円以上20万円未満のエアコンは税務上、「一括償却資産」として扱うことで、3年での均等償却が可能です。また、固定資産税（償却資産税）がかからないというメリットもあります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
一括償却資産	132,000円	現金	132,000円

## 3 30万円以上で固定資産計上する場合

壁掛けタイプなどは「工具器具備品」、ダクト設置型などは「建物附属設備」として計上されることが多く、法定耐用年数にわたり減価償却しま

借方科目	金額	貸方科目	金額
工具器具備品	350,000円	現金	350,000円

# クリーニング代と撤去費用の扱い

購入後にかかる維持費や処分費も経費計上が可能です。

## クリーニング代

衛生管理費、修繕費、清掃費、雑費、外注費などの科目を使用します。

## 撤去費用

一般的に雑費として処理します。固定資産除却損として計上されることもあります。

### ■ 仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
衛生管理費	11,000円	現金	11,000円

## 30万円未満の全額損金算入（青色申告特例）

資本金1億円以下の法人や、従業員500人以下の個人事業主など、中小企業者等の青色申告者であれば、30万円未満のエアコンを購入した年度に一括で経費にできる特例があります。

- **条件**：年間合計30万円までの取得分が対象。
- **メリット**：決算期の利益調整に有効で、翌期以降の記帳の手間も省けます。
- **注意点**：償却資産税の対象にはなる点に留意が必要です。